

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 横浜鋼業株式会社  
 コード番号 7410 URL <http://yokohamakogyo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤誠基  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 西村健太郎  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 06-6583-1261

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,875	—	711	—	697	—	679	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	35.85	—
20年3月期第1四半期	—	—

(注)平成20年3月期第1四半期につきましては、連結経営成績を作成しているため、経営成績は作成しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	8,762	1,643	18.8	86.73
20年3月期	5,524	963	17.4	50.88

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,643百万円 20年3月期 963百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,705	—	989	—	949	—	930	—	49.08
通期	14,562	37.2	1,091	229.2	1,008	402.4	988	—	52.14

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	19,100,000株	20年3月期	19,100,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	153,224株	20年3月期	152,402株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期	18,946,776株	20年3月期第1四半期	4,764,432株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 平成20年3月期第1四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、財務諸表は作成しておりません。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出の高い伸びに支えられて、企業収益は引き続き高水準を維持しておりましたが、サブプライムローン問題等による国際金融市場の動揺及び原料高に加え急激な円高の進行などにより先行きに不透明感が感じられる中で推移いたしました。

鉄鋼流通業界におきましては、さらにメーカー各社の原料高に伴う製品値上げにより、仕入価格が上昇するなど市場環境は厳しさを増しております。

このような中、当社は「事業再生計画」に基づき、目標の達成を目指すために、親会社である小野建株式会社から営業ノウハウ及び仕入面での支援を受け、鋼材価格の値上げに対して販売価格に転嫁できるよう努力し、収益の向上に努めました結果、当第1四半期の売上高及び収益は前年度と比べ大幅に改善いたしました。

当第1四半期における売上高は、3,875百万円となり、損益面では、営業利益711百万円、経常利益697百万円、四半期純利益679百万円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期における総資産は、前事業年度末に比べて3,237百万円増加し、8,762百万円となりました。主な変動は、受取手形が1,778百万円、売掛金が670百万円及び商品が1,058百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて2,558百万円増加し、7,119百万円となりました。主な変動は、支払手形が136百万円及び買掛金が2,429百万円増加したことによりものであります。

純資産につきましては、四半期純利益679百万円を計上したこと等により利益剰余金が増加した結果、前事業年度末に比べて679百万円増加し、1,643百万円となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績につきましては、平成20年7月23日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

又、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。又、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

##### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	667,117	927,317
受取手形	2,488,051	709,327
売掛金	1,698,251	1,027,951
商品	1,362,990	304,750
その他	49,938	45,285
貸倒引当金	△6,898	△6,898
流動資産合計	6,259,450	3,007,734
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	613,913	624,695
構築物（純額）	185,290	187,000
機械及び装置（純額）	25,718	26,864
工具、器具及び備品（純額）	4,022	3,896
土地	1,656,940	1,656,940
有形固定資産合計	2,485,885	2,499,396
無形固定資産		
ソフトウェア	3,890	4,168
無形固定資産合計	3,890	4,168
投資その他の資産		
投資有価証券	4,196	4,196
長期貸付金	5,202	5,232
破産更生債権等	8,603	422
その他	74,770	74,866
貸倒引当金	△79,649	△71,468
投資その他の資産合計	13,122	13,248
固定資産合計	2,502,898	2,516,813
資産合計	8,762,348	5,524,547

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	470,376	334,248
買掛金	3,464,917	1,035,540
1年内返済予定の長期借入金	1,201,370	1,201,370
未払金	79,841	125,133
未払費用	5,043	5,043
未払法人税等	2,418	6,603
賞与引当金	23,400	15,600
その他	38,512	3,650
流動負債合計	5,285,880	2,727,188
固定負債		
長期借入金	1,803,869	1,803,869
退職給付引当金	9,507	9,608
長期預り金	10,031	10,031
長期未払金	9,860	9,860
固定負債合計	1,833,269	1,833,370
負債合計	7,119,150	4,560,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,797,440	1,797,440
資本剰余金	718,100	718,100
資本準備金	718,100	718,100
利益剰余金	△856,012	△1,535,304
その他利益剰余金	△856,012	△1,535,304
繰越利益剰余金	△856,012	△1,535,304
自己株式	△16,329	△16,246
株主資本合計	1,643,198	963,988
純資産合計	1,643,198	963,988
負債純資産合計	8,762,348	5,524,547

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,875,846
売上原価	2,910,836
売上総利益	965,010
販売費及び一般管理費	253,227
運賃	94,041
倉庫関連物流費用	38,999
役員報酬	9,845
給料及び手当	34,540
退職給付費用	2,088
福利厚生費	3,988
租税公課	9,802
賃借料	1,533
減価償却費	14,187
修繕維持費	22,976
その他	21,221
営業利益	711,783
営業外収益	
受取利息	160
受取配当金	0
受取賃貸料	1,547
仕入割引	1,028
その他	54
営業外収益合計	2,791
営業外費用	
支払利息	14,323
その他	2,269
営業外費用合計	16,592
経常利益	697,981
特別損失	
貸倒引当金繰入額	8,180
固定資産除却損	33
その他	10,000
特別損失合計	18,214
税引前四半期純利益	679,767
法人税、住民税及び事業税	475
四半期純利益	679,292

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。又、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

平成20年3月期第1四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、財務諸表は作成しておりません。従いまして、「参考資料」の「前第1四半期に係る財務諸表等」には前第1四半期の連結財務諸表を掲載しております。

前第1四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位：千円)

科 目	前四半期 〔平成20年3月期 第1四半期〕	
	金 額	百分比
		%
I 売上高	2,565,216	100.0
II 売上原価	2,298,563	89.6
売上総利益	266,653	10.4
III 販売費及び一般管理費	234,562	9.1
営業利益	32,091	1.3
IV 営業外収益	17,701	0.6
V 営業外費用	40,790	1.6
経常利益	9,002	0.3
税金等調整前四半期純利益	9,002	0.3
税金費用	475	0.0
四 半 期 純 利 益	8,527	0.3

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。